

令和4年6月27・28日、津市立朝陽中学校にて「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました！

津市立朝陽中学校 認知症キッズサポーター養成講座

2年生190人が、DVDを使つての講話やグループワークを通して認知症について勉強されました。



学習の中で、高齢者体験を取り入れたいと思っていたところ、他の先生から認知症サポーター養成講座のことを聞きました。子ども達には、高齢者のこと認知症のことについて理解を深め、体験を通して考える力を身につけてほしいと思っています。

担任の高島先生(左)と都築先生(右)



グループワークの様子



状況設定された2つの場面(徘徊・記憶障害)で、認知症の方への対応を各グループで話し合い、発表してもらいました。◆徘徊の場面では、「優しく声をかけて、大丈夫ですか?と話を聞く」「パニックになるかもしれないので、安心させる。どうしても(帰り道)がわからなかったら自分の家に連れていき、落ち着いたら話を聞く」、記憶障害の場面では、「(今から作るから)自分の部屋でお菓子でも食べて待っていて」「空いた食器を見せて食べたよ。と優しく否定する」「軽食をだす」などの対応が挙げられました。😊 受講後のアンケートには、「オレンジリングをもらい、身近につけることで安心してもらえるように、行動などでも努力していく」「サポーターとしてどのようなことができるのか知る・調べていきたい」など、「自分にできることを積極的に探していこう」という熱意が感じられました。

第2層コデイナーの思い

2日間を通して、みなさんが真剣に取り組む姿がみられました。また、グループワークの発表では、相手に寄り添う優しい対応が多かったことが印象的でした。河芸町の高齢化率は、27.4%、中学校のある上野地区では、30.2%と10人に3人が高齢者となっています。みなさんも登下校中に地域の高齢者と関わることもあるかもしれません。今回の講座をきっかけに自分の地域、地域に住んでいる方々に関心を持ってもらえたらいいと思います。😊

発行元：津市社会福祉協議会 河芸支部 津市河芸町浜田 868 津市河芸ほほえみセンター内 TEL245-8888

生活支援
コデイナー通信

※生活支援コデイナーは地域のみなさんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

Vol.28 令和4年
8月15日



受講後、認知症を応援する証として「オレンジリング」が渡されました。

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

- 1 驚かせない
 - 2 急がせない
 - 3 自尊心を傷つけない
- さりげなく自然に接する、それが一番の支援です。



講師：津北部東地域
包括支援センター職員